

福岡大学肺移植プログラム初期5年間の年次統計

白石 武史 ¹⁾	平塚 昌文 ¹⁾	樋口 隆男 ¹⁾
柳沢 純 ¹⁾	宮原 聡 ¹⁾	今給黎尚幸 ¹⁾
中島 裕康 ¹⁾	濱中和歌子 ¹⁾	萩尾 康子 ¹⁾
濱武 大輔 ¹⁾	大淵 俊郎 ¹⁾	吉永 康熙 ¹⁾
岡 陽一郎 ¹⁾	中村 晶俊 ¹⁾	増本 幸二 ¹⁾
白日 高歩 ¹⁾	岩崎 昭憲 ¹⁾	山内 靖 ²⁾
星野誠一郎 ²⁾	乗富 智明 ²⁾	山下 裕一 ²⁾
白石 素公 ³⁾	藤田 昌樹 ³⁾	渡辺憲太郎 ³⁾
森重 徳継 ⁴⁾	田代 忠 ⁴⁾	佐光 英人 ⁵⁾
西川 宏明 ⁵⁾	朔 啓二郎 ⁵⁾	石塚 賢治 ⁶⁾
高松 泰 ⁶⁾	田村 和夫 ⁶⁾	重松 研二 ⁷⁾
比嘉 和夫 ⁷⁾	尾籠 晃司 ⁸⁾	西村 良二 ⁸⁾
鍋島 一樹 ⁹⁾	吉村ゆかり ¹⁰⁾	塩田 悦仁 ¹⁰⁾
植山 美穂 ¹¹⁾	高石真奈美 ¹²⁾	

- 1) 福岡大学病院呼吸器・乳腺内分泌・小児外科
- 2) 福岡大学病院消化器外科
- 3) 福岡大学病院呼吸器科
- 4) 福岡大学病院心臓血管外科
- 5) 福岡大学病院循環器科
- 6) 福岡大学病院血液腫瘍内科
- 7) 福岡大学病院麻酔科・S-ICU (Surgical-Intensive Care Unit)
- 8) 福岡大学病院精神科
- 9) 福岡大学病院病理部
- 10) 福岡大学病院リハビリテーション部
- 11) 福岡大学病院薬剤部
- 12) 福岡大学病院臓器移植コーディネーター

要旨：2005年7月、福岡大学病院は脳死及び生体肺移植実施施設として認定された。以来、九州一円より79名の重症呼吸不全照会患者を肺移植適応候補として受け入れた。このうち37名が肺移植の適応患者として正式に診断され、脳死肺移植と生体肺移植がそれぞれ4名、2名に実施された。移植を受けたすべてのレシピエントは良好な活動性を回復し、酸素吸入なしで退院を果たした。しかしながら脳死肺移植を受けた2名が、①移植の時点では完全寛解状態にあると判断されていた悪性疾患の移植後再燃により術後8か月目に、②サイトメガロウイルス感染による消化管出血により術後1年9か月目に、それぞれ術後晩期死亡をされた。その他のレシピエントは現在の時点で良好な活動性を維持し、酸素吸入を必要とせず日常生活に復帰している。本稿は福岡大学肺移植プログラム最初の5年次集計報告である。

キーワード：肺移植, 脳死ドナー, 生体ドナー, 小児肺移植